

研究課題番号	3-1803
研究課題名	指定廃棄物熱処理残渣中セシウムのアルミノ珪酸塩による捕捉・難溶性態化技術の確立
研究実施期間	平成 30 年度～令和 2 年度
研究機関名	北海道大学
研究代表者名	東條 安匡

1. 委員の指摘及び提言概要

目標に応じた先進的な成果が得られている。アルミノケイ酸塩による Cs 捕捉技術の確立のため実験的な成果が生み出され、特許出願がなされている点が評価できる。実際の間蔵貯蔵除去土壌への適用に向けた課題などが整理されていることが期待される。提案されているアルミノ珪酸塩による Cs 捕捉・難溶性態化が、除染作業によって発生した除去土壌等の処理手段として実装化されていくよう、関連機関への積極的な情報提供を行っていただきたい。実スケールのプラントを目指して研究を進めてほしい、そのためには、スケールアップなどについて適切なパートナーを見つけると良いと思う。成果を実務に活用できるよう行政との検討を進めてもらいたい。

2. 採点結果

評価ランク：A